

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	644 治山林道維持経費	会計	01	一般会計
		款	06	農林業費
		項	02	林業費
基本 施策	42 持続的で個性的な農林業を実践する	目	02	林業振興費
		細目	324	治山林道維持経費
行革大綱の重点事項番号		4	細々目	01 治山林道維持経費
担当部課	コード	191300		担当者
	名称	産業建設部 農村整備課	氏名	岡本隆雄
			連絡先	43 - 2304 (内線) 360

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	崩落山地や荒廃森林	※対象件数
成果(どうする)	山が安定し森林が再生する	
根拠法令・要綱等	森林法、県条例(三重の森林づくり条例)	
開始年度/平成	年度	関連事業
終了年度/平成	年度	
H21 事業 内容	三重県森林協会継続加盟 林道安全協会継続加盟 林道補修工事 6ヶ所 維持管理林道小規模工事補助 17件 林道草刈 15路線	
社会情勢 の変化等	整備された幹線林道等に近年、一般車両の通行が増加し、視距確保のための除草作業や倒木の除去等の増加が	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
	協会への加入数	団体	目標	2	目標	2
			実績	2	実績	2
	治山事業・森林整備ヶ所数	ヶ所	目標	20	目標	20
			実績	12	実績	15

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
	林道補修工事箇所	市管理林道延長225.3kmに対する補修工事箇所の比較	ヶ所	目標	0	目標	1
				実績		実績	6
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
直接事業費計 (A)	630	17,276			10,818		11,000	
Aの 財源 内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0					
	一般財源	630	17,276			10,818		11,000
事業投入人件費 (B)	0.1 人	720	0.3 人	2,160	0.3 人	2,160	0.3 人	2,160
フルコスト(A)+(B)	1,350	19,436			12,978		13,160	

事務事業の評価 (Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
効果性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	○
達成度	幹線林道等へ一般車両の通行が増加しているため、事故等の発生防止のため必要な事業。	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合は、市民生活への影響が大きい事業	
有効性	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
達成度	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
効果性	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
効果性	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
効果性	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
効果性	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
効果性	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	宅地裏山の崩落や荒廃森林の対策等が国・県の責任で対処されるため、引き続き危険箇所の解消に努める必要がある。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	危険箇所の解消を進めるため、情報の収集や調査を行っている。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	山内 敏
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	林道の草刈については、起終点が県市道等の道路に接続しており、生活道路としての性格を併せ持つ路線を行っている。一般車両の通行が多く、安全通行の確保のため今後とも継続する必要がある。
現時点における課題、その他	地元自治会に作業委託を基本に行っているが、従事可能な人員確保が困難になる。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	平成23年9月までに作業委託が困難になった路線についてはシルバー人材センター委託に変更する。